※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）絵画表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の使い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は
振り返りレポートや相互評価を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて主題に沿った表現が行えているか、また材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現出来ているか、また他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	静物画を描く	【絵画制作】【鑑賞】 1.　主題の設定 瓶、果物の模型、布を自分なりに机上に設置する。 2･構想を練る、制作 自分のイメージに沿って着色する。 油絵の具やアクリル絵の具の使い方に留意し、配色を考えながら着色する。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 形や色彩、材料などが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かし，表現方法を創意工夫し，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 b:(発想や構想) 目的や伝えたいイメージの美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 (鑑賞) C:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	名画の模写	【絵画制作】【鑑賞】 1.　主題の設定 教科書や画集の中から、描いてみたい絵を選ぶ。 作者や作品の時代背景、技法などについて調べる。 2･構想を練る、制作 対象をよく観察しながらキャンバスに下描きをする。 油絵の具やアクリル絵の具の使い方に留意し、対象をよく観察しながら着色する。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 形や色彩、材料などが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かし，表現方法を創意工夫し，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 b:(発想や構想) 目的や伝えたいイメージの美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 (鑑賞) C:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	自由制作①	【絵画制作】【鑑賞】 1. 主題の設定 30 号の大きさに描きたい作品の構想を練る。 2･制作 出来た構想に沿って着色していく。 油絵の具やアクリル絵の具の使い方に留意し、配色を考えながら制作をすすめる。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 形や色彩、材料などが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かし，表現方法を創意工夫し，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 b:(発想や構想) 目的や伝えたいイメージの美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 (鑑賞) C:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	自由制作②	【絵画制作】【鑑賞】 1. 主題の設定 50 号の大きさに描きたい作品の構想を練る。 2･制作 出来た構想に沿って着色していく。 油絵の具やアクリル絵の具の使い方に留意し、配色を考えながら制作をすすめる。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 形や色彩、材料などが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かし，表現方法を創意工夫し，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 b:(発想や構想) 目的や伝えたいイメージの美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 (鑑賞) C:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	自由制作②	2学期の続きを行う	a:(知識) 形や色彩、材料などが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を生かし，表現方法を創意工夫し，制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。 b:(発想や構想) 目的や伝えたいイメージの美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 (鑑賞) C:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度